

児童発達支援 自己評価結果公表

【平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日】

平成 30 年度にオープンカフェ利用者様を対象に実施しました保護者向け放課後等デイサービス評価表の集計結果を公表します。

本アンケートは平成 29 年度の放課後等デイサービスにかかる基準改正により、「放課後等デイサービスガイドライン」の内容に沿った評価項目が規定され、それに基づく評価を行い、評価及び改善の内容をおおむね 1 年に 1 回以上、公表することが義務付けられたことにより実施されました。プライバシーなどに配慮いたしまして、無記名で行われました。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現状評価	改善目標・内容
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2			オープンカフェは延べ床面積 160 平米あり、トレーニングルーム、学習室、休養室、脱衣所、浴室完備。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2			法律の基準では、子ども 5 人に対して 1 人ですが、オープンカフェでは子ども 3 人に対して職員を 2 名配置。	専門性を高めるため研修学習を行う。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	2			一階は完全にバリアフリー化、二階への階段には手すり設置。	危険個所がないかチェックと修繕を行う。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	2			相談支援事業所などの評価に基づき、計画を作成。	
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2			レクリエーション会議を毎月行い、さまざまなプログラムを取り入れている。内容は月間予定表やお便りで紹介中。	継続して活動プログラムをよいものにするため会議を行う。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			月一回オープンカフェの開放する活動を行い地域の子どもが参加。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現状評価	改善目標・内容
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2			利用契約時に説明。	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2			連絡ノート、適宜面談を行う。	送迎時に保護者との連携や、面談にて共通理解を進める。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2			面談、送迎時に行う。	助言を含め継続して支援をおこなう。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2			作品発表会で保護者が集まる場を提供している。	今年も同様に作品展などで、保護者が連携できる場を設ける。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2			苦情マニュアルを作り職員間で共有している。	苦情マニュアルを通じて、継続して、体制を整備する。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2			子どもや保護者と話しあうスペースを施設内にカフェスペースとして設置。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2			月一回のおたより、フェイスブック、HP等で活動概要、行事予定などを発信。	
	14	個人情報に十分注意しているか	2			個人情報には鍵付きの書庫で管理し、インターネット上に掲載する写真は個人が特定できない様に画像加工をして発信。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現状評価	改善目標・内容
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	2			オープンカフェ独自のマニュアルを策定している。	継続してマニュアルを元に対応をする。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2			半年に一回、防災センターに行って非常災害の体験学習開催、又施設内で避難訓練を定期的に行っている。	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	2				スタッフ間でコミュニケーションをとりつつ改善を行う。
	18	事業所の支援に満足しているか	2				良い物を残しつつ、新しい取り組みを行う。



2020.4.30 アンケート集計者 都